

## A-51 学校給食におけるカルシウムの摂取量について

香川大 末沢 幸子

1. 栄養調査において Ca の摂取量が栄養基準量に対して非常に不足していることが指摘されている。しかしこの摂取量は利用した食品中の Ca 量を食品成分表によって算出した値で摂取形態になった食物中の Ca の実測値ではなく真の摂取量とはいえない。Ca は発育期には特に必要な栄養素であること、調理過程において損失の少ないこと、算出値には計算もれのあること等の点より学校給食の副食よりの Ca の正確な摂取量を知る為に化学分析により実測し成分表から算出される値との比較検討を行った。更に Ca と P との比率についても検討した。

2. 次の三方法によって学校給食副食中の Ca および P 量を測定した。(1)献立表にもとづいて日本食品標準成分表により算出し献立の計算値とした。(2)給食と同一材料を用い献立表にもとづき実験的に調理したものを化学分析して献立の実測値とした。(3)学童に給与された給食を化学分析して摂取量とした。Ca はキレート滴定法、P はモリブデン青比色法を用いた。

3. 測定の結果次のような傾向が得られた。(1)Ca は何れの副食献立においても計算値より実測値の方が多い。摂取量も計算値より相当上回っているが栄養基準量に対しては尚不足している。Ca と P のバランスについては計算値における比率は調理によって向上され実測値および摂取量においてあまり不均衡な献立は認められなかった。